

公明党 森 しず子 議員

インターネットを活用した心の健康チェックと対策について

(質問) スマホやパソコンから、うつ病のメンタルヘルス、心の健康チェックができる「こころの体温計」の導入、いじめで苦しんでいる生徒や保護者のために、いじめチェックシステムの導入、認知症に対する知識の普及啓発に効果があり、低予算で導入が出来る「認知症チェッカー」導入を考えてはどうか。

(答弁) 保健センターをストレスや悩みを抱える方への傾聴の場としていく。「こころの体温計」は導入している他の自治体のシステムの利用状況や効果を調査したい。いじめ発見に向けたチェックポイントを教育委員会ホームページ上で公表し、多様ないじめ相談窓口の開設を考えていく。「認知症チェッカー」は、家族介護者向けや高齢者本人向けのシートで、認知症啓発の一環として有効。導入については、先進地の事例を参考にに取り組む。

平明の会 矢野 仁志 議員

子育て分野の改革について

(質問) 子育て総合窓口の一元化組織改革と職員の人材育成について。

(答弁) 0歳から18歳までの途切れのない支援を総合的に提供できるように保育所や幼稚園の入園手続も含め、子どもに関する窓口の一元化に向けた組織改編を前向きに検討していきたい。職員の人材育成については、三重県北勢児童相

談所と人事交流を行い、虐待事案への対応方法等を学ぶなどを行っているが、相談体制について、臨床心理士と教員、保育士と家庭児童相談員、保健師と養育支援訪問員など、グループを越えた職員同士を組み合わせ、それぞれの経験や専門性を活かしながら相談ケースに柔軟かつ臨機応変に対応できるよう、*OJTをはじめとした人材育成をさらに進め、また、専門性を有し指導的立場となるコーディネーターの配置等についても、来年度4月を目途に開始することを考えている。

※OJT=オンザジョブトレーニングの略で、企業(組織)内教育、教育訓練手法のひとつ

平明の会 野間 芳実 議員

子ども・子育て支援新制度について

(質問) ①新制度では、標準時間保育(11時間)と短時間保育(8時間)に分類されるが、保育料金・延長保育料金はどうか。②公立保育所の土曜日保育を18時まで延長するべきと考えるがどうか。③低年齢児(1歳児)保育について、補助金を含めても、運営費の面で私立保育所は児童1人あたり月額3,500円ほどの負担が生じている。このこと

について、補助金の増額は考えているのか。

(答弁) ①標準時間保育・短時間保育での保育料の差額は、最高でも1,000円に満たない見込みである。延長保育料金については、来年度は従来どおりで、それ以降については検討中である。②現状維持の方針であるが、公立保育所が今までどおりでよいのかということも今後議論が必要と考えている。③補助金の増額については、財政状況や保育の事情を考えながら最大限の努力をさせていただく。

無所属 市川 哲夫 議員

合川小学校の特認校について

(質問) 制度の概要と導入経緯、周知方法、平成27年度の見込みと今年度の予定について。

(答弁) 特認校とは、市内全域を通学区域とする制度である。合川小学校は、平成25年度の新2・3年生の児童数が少なく複式学級になる可能性があったことから、地元より対策をとるよう要望があった。また、市内の大規模校で生徒の過

密化の課題があることから、大規模校における生徒数減少も期待し、平成27年度から合川小学校を小規模特認校に指定した。募集定員は、来年度は各学年10人以内とし、新入生へのチラシ配布、記者会見、広報すずか、ホームページ等で周知した。問い合わせ数や学校見学会への参加数から、市民の関心はありそうである。募集期間後、学校長と面接し、就学の可否については1月中旬に通知予定である。

その他の質問 ○国・県に対し、規制緩和の対応